令和6年度　五ヶ瀬川水系等浸水被害及び土砂災害軽減対策協議会
令和6年度　五ヶ瀬川水系流域治水協議会

１．概　要

令和6年度の「五ヶ瀬川水系等浸水被害及び土砂災害軽減対策協議会」及び「五ヶ瀬川水系流域治水協議会」を同日開催した。
「水防災意識社会再構築」に関する取り組み及び「流域治水プロジェクト2.0」として新たに取り組む施策の共有や「流域治水の自分事化」に向けた取り組み、令和６年度に実施した具体的な取組内容について、各機関より報告や質疑、意見交換などが行われた。

２．参加機関（黒字は共通、赤字は五ヶ瀬川水系流域治水協議会のみ、青字は五ヶ瀬川水系等浸水被害及び土砂災害軽減対策協議会のみ）

○日時：令和7年３月24日(月)　14:30~16:30　○場所：延岡河川国道事務所３F会議室及びweb（併用）
○参加機関：延岡市、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町、宮崎県、熊本県、大分県、宮崎県延岡土木事務所、宮崎県東臼杵農林振興局、宮崎県西臼杵支庁、熊本県上益城地域振興局、熊本県阿蘇地域振興局、大分県佐伯土木事務所、林野庁九州森林管理局宮崎北部森林管理署、国立研究開発法人森林研究・森林整備センター宮崎水源林整備事務所、九州財務局宮崎財務事務所、九州電力株式会社、気象庁宮崎地方気象台、延岡河川国道事務所
アドバイザー（宮崎大学　村上教授、入江教授）

３．議事次第

①開会
②挨拶　延岡河川国道事務所長
③議事
（１）規約について
◆五ヶ瀬川水系等浸水被害及び土砂対策軽減対策協議会
（２）取組方針の確認
（３）取組方針に基づく実施状況について
◆五ヶ瀬川水系流域治水協議会
（４）流域治水プロジェクト2.0について
（５）五ヶ瀬川流域における対策事例について
（６）流域治水の自分事化に向けた取組について
④その他
⑤閉会

◆アドバイザーからの意見
（宮崎大学　村上教授）
①防災士育成の取組（宮崎県）の整理とネットワーク化の検討
②教育委員会等と連携した学区単位での地域防災の枠組み
③環境（土砂、海岸、山の管理）の問題など幅広の視点
（宮崎大学入江教授）
①中学生（模擬流域治水協議会）のアイデアの具体化・支援
②模擬流域治水協議会への延岡市内の中学校の参加検討
③利水・発電の便益を踏まえた民間企業の参加検討

◆質疑応答
（延岡市）
①段階的に効果がでる事業の推進、説明
②上下流を視野にいれた流域治水の学習、教育員会との連携

◆事務局からの情報提供
・河川協力団体の支援を考慮した自分事化の推進

WEBの併用
(Teams)